

ELECOM Logitech Bluetooth
防水コードレススピーカー取扱説明書

本製品は、Bluetoothに対応した防水コードレススピーカーです。携帯電話やスマートフォンとワイヤレスに接続し、水気のある場所でも音楽などを楽しむことができます。またハンズフリー通話機能にも対応しているので、バスルームで音声通話を楽しむことができます。

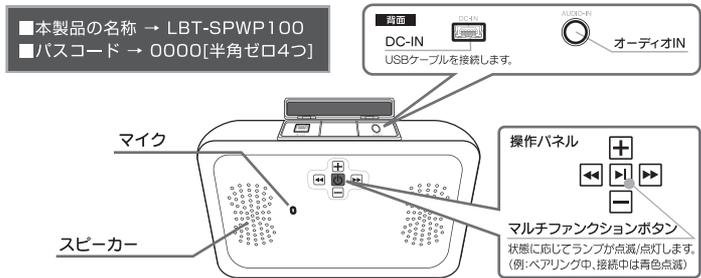
！ 防水性能について

本製品は、[IPX5/IPX7]相当の防水性能を装備しており、規定圧力の水中でも正常に動作する防水性能を備えております。

パッケージ内容の確認

- スピーカー（1個）
- USB充電ケーブル(1本)
- 取扱説明書 兼 保証書(本書)
- 簡単ペアリングガイド

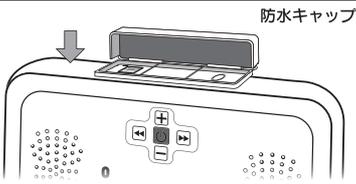
各部の名称



！ ご使用の前に

必ず防水キャップを完全に閉めてご利用下さい。防水キャップから浸水した故障については保証いたしかねます。

※スピーカー、マイク部の孔に水滴が入り込んでも故障することはありませんが、乾燥するまで音がこもる、こちらの音が相手へ届かないなど一時的に性能が低下します。その場合、水を切り乾燥させてご利用ください。



製品仕様

通信方式	FH-SS(周波数ホッピング方式スペクトラム拡散)
対応プロファイル	HFP、HSP、A2DP(SCMS-T対応)、AVRCP
通信距離	最大約100m(理論値:ご使用になる環境によって異なります。)、Class 1
電源	バッテリー:内蔵リチウムポリマーバッテリー(400mAh) 入力電圧:DC5V(付属USB充電ケーブルより供給)
消費電流	500mA(MAX)
連続待受時間※	最大約150時間
連続通信時間※	最大約5時間
満充電時間	最大約4.5時間
外形寸法	120(W)×16.2(D)×83(H)mm(突起部含む)
使用温度範囲	0~40℃
使用湿度範囲	20~80%(ただし、結露しないこと)
質量	約112g
適合規格	ARIIB STD-T66、JATE、Bluetooth Version 2.1+EDR、RoHS指令準拠
防水性能	IPX等級 5/7 相当
登録デバイス数	8件

※保護環境、使用環境、条件などにより実際の連続待受時間や連続通信時間が短くなる場合があります。
 ※電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。
 ※高温状態での保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

STEP 1 充電します

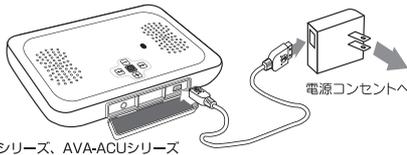
添付のUSBケーブルで、電源コンセントまたはパソコンから充電します。
 ※充電用のアダプターは、別途購入が必要です。

充電中はランプが赤色に点灯します

充電が終了するとランプは消えます。※満充電には最大4.5時間かかります。

電源コンセントから充電する場合

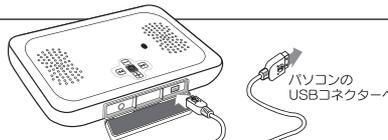
- ①市販のUSB用ACアダプターと充電用USBケーブルを接続します。
- ②本製品に充電用USBケーブルのコネクターを挿し込みます。
- ③電源コンセントにACアダプターを挿し込みます。



※メーカー推奨ACアダプター:AVA-ACU01シリーズ、AVA-ACUシリーズ

パソコンから充電する場合

- ①本製品にUSBケーブルのコネクターを挿し込みます。
- ②パソコンにUSBコネクターを挿し込みます。



※電池残量がなくなると、「ブーブー」と警告音が鳴り、ランプが赤点滅します。(しばらくすると電源が切れます。)上記いずれかの方法で充電してください。

電源のON/OFF

- ▼電源の入れ方
 マルチファンクションボタン **[▶]** を2秒程度押し続けます。トーンが鳴り、青LEDが1秒間点灯し、電源が入ります。
- ▼電源の切り方
 マルチファンクションボタン **[▶]** を2秒程度押し続けます。トーンが鳴り、赤LEDが1秒間点灯し、電源が切れます。

STEP 2 初期設定(ペアリング)します

本操作は初めて本製品を使用する場合や、新しいBluetooth機器に接続する場合に行います。携帯電話でご利用の場合は、簡単ペアリングガイドをご覧ください。

！ まだ本製品の電源は入れないでください

【基本】ペアリング手順

- ①ご使用になる前に本製品をパソコンもしくは市販のUSB充電器に接続し、充電を行います。
 ※バッテリーで動作をさせる場合には、充電を行ってからペアリング(本操作)を行ってください。
- ②本製品のマルチファンクションボタン **[▶]** を「ピー」という音が鳴るまで押し続けます。
 ※「ピー」と鳴ったらマルチファンクションボタンより手を離します。
 ※本操作前に本製品の電源を入れていた場合には、一旦OFFにしてから、本操作を行ってください。
- ③Bluetooth機器(接続する機器)にてペアリングのための操作を行います。
 ※操作方法は、ご利用されるBluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。
 ※Bluetooth機器側で本製品を検出した場合は、[LBT-SPWP100]の名前で表示されます。
 ※パスワードを要求された場合は、[0000](ゼロが4つ)と入力してください。(パスワード、PINコード、パスワード等の名称で要求される場合もあります。)

！ Bluetooth機器は8台まで登録可能です

9台以上の機器を登録すると、使用履歴が古い機器から消去され、新しい機器が登録されます。また同じ機器の場合は、何度登録作業を行っても、1台としてカウントされます。

例: iPhoneと接続する場合

- ①本製品背面のマルチファンクションボタン **[▶]** を「ピー」という音が鳴るまで押し続けます。
 ※「ピー」と鳴ったらマルチファンクションボタンより手を離します。
 ※本操作前に本製品の電源を入れていた場合には、一旦OFFにしてから本操作を行ってください。
- ②iPhoneの「設定」を開きます。
- ③「一般」メニューから「Bluetooth」を「オン」にします。
- ④検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から「LBT-SPWP100」を選択します。
- ⑤ペアリングが完了するとスピーカーからブーンと音が鳴ります。
 ※詳細は別紙の簡単ペアリングガイドを参照してください。

！ 接続中の機器との通信は終了してください

既に登録済みの機器とBluetooth通信を行っている時には、本操作は行えません。通信を終了し、本製品の電源を切ってください。
 ※オーディオケーブルで接続中も本操作は行えません。

STEP 3-1 音楽を再生する

登録済み(ペアリング済み)Bluetooth機器との接続手順

- ①Bluetooth機器の電源をONにします。
- ②本製品の電源をONにします。 →自動的に接続されます。
 ※ご使用の機器によって手順が異なる場合があります。詳しくはご利用の機器の取扱説明書をご覧ください。

手動で接続をおこなう場合

本製品の **[▶]** を「ピー」という音がするまで押します。→直前に接続した機器に接続されます。
 ※接続に失敗した場合は、その前に接続した機器に登録されている順番に接続を試みます。

音楽再生時の操作

- [▶]** …… 一時停止/再生
- [◀]** …… 曲頭まで戻す*
- [▶▶]** …… 次の曲を再生*
- [+]** …… 音量を上げる
- [-]** …… 音量を下げる

※iPhone/iPod touchではiOS4.1以降で動作いたします。

ワンセグ再生時の操作

- [◀]** …… 選局
- [▶▶]** …… 選局
- [+]** …… 音量を上げる
- [-]** …… 音量を下げる

※携帯電話によってはワンセグなどの視聴時に選局が出ない場合があります。

STEP 3-2 ハンズフリー通話をする

- ▼発信する場合
 携帯電話で電話をかけます。→自動的にスピーカーに接続されるので、そのまま通話ができます。
 ※ヘッドセット接続時は **[▶]** を長押しします。
 ※電話機によっては、下の「通話中に音声出力を切り替える場合」の操作が必要です。
- ▼着信する場合
[▶] を押します。→スピーカーで通話ができます。
 ※ヘッドセット接続時は **[▶]** を長押しします。

- ▼着信拒否
 着信時に **[▶]** を2度押します。

- ▼リダイヤル
 ①携帯電話を「待ち受け状態」にします。
 ② **[▶]** を2度押ししてください。
 →前にかけた番号に電話がかかります。
 ※通話中、オーディオ再生は中断します。通話が終わるとオーディオ再生が再開されます。
 ※携帯電話によってはリダイヤルをかけるまえに、音楽の再生を停止しておく必要があります

- ▼音量操作
 ●マイクミュート …… **[◀▶]** または **[▶▶]** を押します
 ●音量を上げる …… **[+]** を押します ●音量を下げる …… **[-]** を押します

通話中に音声出力先を切り替える場合

- [▶]** ボタンを「ピー」と音がするまで押すことで、以下の切替が行えます。
 携帯電話機での通話 ↔ スピーカーでのハンズフリー通話

登録履歴の初期化 / ハードウェアのリセット

- ▼以下の手順で、Bluetooth機器の登録履歴を初期化することができます。
 電源OFFの状態 **[▶][◀▶]** の3つのボタンを同時に10秒以上長押し
 →初期化に成功するとLEDが紫色で4回点灯します。
- ▼以下の手順で、ハードウェアのリセットをすることができます。
 マルチファンクションボタン **[▶]** を押した状態で充電を開始する

STEP EX オーディオケーブルを使う

オーディオケーブル(3.5φステレオタイプ)でも接続可能です

- ※オーディオ機器と本製品をオーディオケーブルで接続すると、ランプが紫色に点滅します。(Bluetooth接続の場合は青色点滅します。)
 ※オーディオケーブル(3.5φステレオタイプ)は別途ご用意ください。



ケーブル接続時は音声出力が自動的に外部入力に切り替わります。ケーブルを取り外すとスピーカーの電源が一度切れます。
 ※オーディオケーブル使用時は防水ではありませんので水回りでのご使用はお控えください。

必ずお守りください

■正しく安全にお使いいただくために

本製品を正しく安全にお使いいただくために、以下の重要な注意事項を必ずお守りください。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●万一、異常が発生したときは...

本製品から異臭や煙が出たときは、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、付属のUSB充電ケーブルをコンセントから抜いてください。その後は本製品をご使用にならず、販売店にご相談ください。



●高温のまま放置しないでください。

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



●車の中には絶対に放置しないでください。

本製品を高温の車内に長時間放置しておく、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。



●本製品の電源コネクタや充電ケーブルの接続端子などの金属部分に触れないでください。

静電気が汚れなどにより、故障、感電の原因となります。



●分解しないでください。

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因となります。



●着信音量の設定には十分気をつけてください。

携帯電話とペアリングして使用しているときに、着信音に驚いて事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります。音量は最小から徐々に上げ、適切な音量に調整してください。



●接続に使用するコードを傷つけないでください。

火災や断線の原因となります。



●水のかわる可能性のある場所で使用する場合は必ず防水キャップを付けてください。

また、その際にゴミや髪の毛などが防水キャップと本体の間に挟まってしまう場合は必ず取り除いてください。



 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●水気の多い場所での使用／保管は行わないでください。

本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因となります。



●小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。

誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。



●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。

本製品は、iPhoneや携帯電話などと無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。



●日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。



保証規定

■保証内容

製品添付のマニュアル、文書、説明ファイルの記載事項にしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本保証書に記載された内容に基づき、無償修理を致します。保証対象は製品の本体部分のみとさせていただきます。添付品は保証の対象とはなりません。なお、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■保証適用外事項

保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。
1.本保証書の提示をいただけない場合。
2.本保証書の所定事項の未記入、あるいは文字が書き換えられた場合。
3.お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃等、お取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合。
4.火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、または異常電圧等による故障、損傷の場合。
5.接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
6.弊社および弊社が指定するサービス機関以外で、修理、調整、改良された場合。
7.マニュアル、文書、説明ファイルに記載の使用法、およびご注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。

■免責事項

本製品の故障または使用によって生じた、お客様の保存データの消失、破損等について、保証するものではありません。直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

個人情報取り扱いについて

ユーザー登録・修正依頼・製品に関するお問合せなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますので、ご安心ください。

BluetoothおよびBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG, Inc.の商標でありロジテック株式会社にライセンスされています。そのほか、この取扱説明書に掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略しています。

■その他の注意事項

- 航空機内や病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源をお切りください。無線機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 自動車やエレベーター、自動ドアなどの自動制御電子機器に影響が出る場合は、すぐに使用を中止してください。安全走行や安全運行を阻害するおそれがあります。
- 本製品のそばに花びんや、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類を置かないでください。また、屋外で使用する場合、本製品が濡れないようにご注意ください。防水キャップを適切に装着していない状態で水や液体が中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがありますので、すぐに本製品の電源を切り、弊社サポートセンターにご連絡ください。



■医用機器近くでの使用に関する事項

※下記記載は「医療電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

- 植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本製品を22cm以上離して携行および使用してください。電波により植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
- 満員電車の中など混雑した場所では付近に植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈診断画像監視室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では本製品の電源を切ってください。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源を切ってください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自宅療養などで医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器以外の電子機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認ください。電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。



サポート修理受付窓口のご案内

■製品に関するお問合せ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ 6409.jp (http: は必要ありません)

テクニカルサポート (ナビダイヤル)
0570-022-022
月~土 (祝日営業) 10:00-19:00
※夏期、年末年始、特定休業日を除く

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・弊社製品の型番
- ・ご利用の携帯電話、iPod、ゲーム機などの型番
- ・ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

■修理について

●製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。This warranty is valid only in Japan.

●製品本体、ACアダプタ以外の付属品は、保証対象ではありません。例>イヤーフック、イヤークリップ、イヤホン、ケーブル類、スタンドなど 付属品問合せ窓口へメールにてご相談ください。http://www.logitec.co.jp/pro/fuzoku.html

●修理終息製品の検索、依頼の手順、修理依頼書(PDFファイル)をインターネットへ掲載しております。ご利用が可能であればご確認をお願いします。http://www.logitec.co.jp/support/service.html

修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理(製品交換の場合あり)してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない(修理終息)場合がありますのであらかじめご了承ください。

修理ご依頼時の確認事項

- ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- ・保証期間の有無にかかわらずご送付頂く際の送料はお客様負担となります。
- ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
- ・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- ・依頼品には、お客様の氏名、連絡先(ご住所/電話番号)、故障の状態を書面にて添付してください。

■修理依頼先

〒396-0111 長野県伊那市美すず六道原 8268
ロジテック株式会社 3番窓口エレコムグループ修理センター
TEL: 0265-74-1423 FAX: 0265-74-1403
○電話受付時間 月~金 9:00~12:00、13:00~17:00 ※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く
製品に関する技術的なお問合せや修理が必要かどうかについてのお問合せは、テクニカルサポートへお願いします。

困ったときは

■携帯電話で通話の音声が届かない
一部の携帯電話では、通話中に約20秒以上の無音状態が続いた場合に、自動的に省電力モードになり、音声入出力がオフになります。そのため、通話中でも音声が届かなくなることがあります。このような場合は、本製品のマルチファンクションボタンを押して、携帯電話の省電力モードを解除してください。

■本製品の電源が入らない
製品を充電してからお試しください。またはハードウェアのリセットをお試しください。

■ノイズやエコー音が入る
ペアリング相手との距離を変えてみる、音量を調節してみるなどをお試しください。

■携帯電話の着信時にマルチファンクションボタンを押しても通話できない
一部の携帯電話では、着信時に本製品のマルチファンクションボタンを数回押さないで通話を開始できない場合があります。マルチファンクションボタンを1回だけ押しても通話できないときは、数回押してみてください。

■通話相手に自分の声が聞こえない
一部の携帯電話では、本製品のマイク入力が無効になるように、手動で設定する必要がある機種があります。マイク入力が無効になっていると、本製品のマイクからの音声か通話相手に聞こえません。

■着信前に留守番転送されてしまう
着信から留守番電話サービスに転送するまでの時間が短く設定されていると、本製品に音声か転送される前に留守番転送されてしまいます。このような場合は、留守番電話サービスへの転送時間を長めに設定してください。

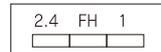
■Bluetooth搭載機器とペアリングできない
○機器側のBluetooth機能が使用可能な状態であることを確認してください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定する必要があります。
○ご使用の機器が本製品のプロフィールに対応しているかをご確認ください。

■着メロ/着信音が聞こえない
着メロが設定されていても、本製品からは通常の呼び出し音が聞こえます。携帯電話に設定した着メロは利用できません。また、携帯電話の機種によっては、Bluetooth設定の「ハンズフリー着信鳴動」を本製品も鳴らすように設定する必要があります。[接続相手も鳴動]などに設定します。

！ 2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、ロジテック テクニカルサポートへお問い合わせください。



2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す
FH : 変調方式を表す
1 : 想定される干渉距離を表す (<=10m)
全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不能であることを意味する。

 **感電などの危険があるため、本製品は絶対に分解しないでください。**